村上23号ソロ

大リーグ　岡本3安打

【シカゴ＝時事】米大リーグは29日、各地で行われ、ホワイトソックスの村上はヤンキース戦に2番一塁で出場し、八回に同点の23号ソロを放って4打数1安打1打点でした。チームは延長十二回、6−5でサヨナラ勝ちしました。

ドジャースの大谷はマリナーズ戦に1番指名打者（DH）で臨み、六回に適時二塁打を放つなど3打数2安打1打点。チームは4−2で勝ちました。

ブルージェイズの岡本はナショナルズ戦に3番一塁で出場し、八回に2点二塁打を放つなど5打数3安打2打点でした。ブルージェイズは5−2で勝利。

カブスの鈴木はカージナルス戦に2番右翼で出場し、3打数1安打。チームは延長十回、2−3でサヨナラ負け。レッドソックスの吉田はアスレチックス戦の六回に代打で出て、投ゴロでした。

ヤンキース戦の8回、同点のソロ本塁打を放ったホワイトソックスの村上（AFP時事）

左膝不安も 大谷が激走

▽…左膝に不安を抱えながら激走を見せた。ドジャースの大谷は三回1死から右前打を放つ。続くパヘスの打席。ヒットエンドランでスタートを切り、スピードに乗って三塁を陥れる。直後の内野安打で生還した。

本来の感覚とのずれに悩まされている。「100％で走ればセーフだと思っているところが、スピードが出ないことでアウトになるケースもある。その辺が難しい」。万全ではない体と向き合う中、積極走塁が実を結んだことは好材料だろう。

六回2死一塁ではフルカウントから外角直球を捉え、左中間へ痛烈なライナーで運ぶ二塁打。2試合連続の複数安打をマークし、打撃の状態は上向いてきた。大事な秋のポストシーズンに向け、葛藤しながら理想に近づけようとしている。（時事）

錦織2回戦敗退

男子テニス

【ワシントン＝時事】テニスのムバダラDCオープンは29日、米ワシントンで行われ、男子シングルス2回戦で錦織圭（ユニクロ）は、世界ランキング24位のラファエル・ホダル（スペイン）に3−6、2−6で敗れました。錦織は主催者推薦で出場。引退表明後、初めて臨んだ公式戦でした。

女子シングルス2回戦では、第3シードの大坂なおみ（フリー）がアシュリン・クルーガー（米国）を下し、準々決勝進出。第1セットを6−3で奪い、第2セット途中に相手が棄権しました。

★大坂が出場へ　女子テニスの東レ・パンパシフィック・オープン（10月26日開幕、東京・有明テニスの森公園）の主催者は30日、2019年大会を制した大坂なおみ（フリー）の出場が決まったと発表しました。昨年はけがで欠場。出れば4年ぶりで、大坂は「大変楽しみ。日本のファンの皆さんの前でプレーすることは、私にとって特別なこと」とコメントしました。

日本準決勝進出

中国に逆転勝ち

バレーNL男子

バレーボールのネーションズリーグは29日、中国の寧波で男子の準々決勝が行われ、日本は中国に3−1で逆転勝ちし、8月1日の準決勝に進みました。

1次リーグを12戦全勝で首位通過した日本は、第1セットを中国に奪われましたが、接戦となった第2セットを取り返すと、続く2セットも連取しました。（時事）

ロス五輪予選 日本開催決定

サッカーU23アジア杯

日本サッカー協会は30日、2028年ロサンゼルス五輪の男子予選を兼ねたU23（23歳以下）アジア・カップが、同年に日本で開催されることが決まったと発表しました。上位2チームが五輪出場権を獲得。試合日程や会場は今後決まります。

日本は大岩剛監督がA代表と兼任でロス五輪を目指す予定。日本協会の宮本恒靖会長は、「この年代は選手として大きく成長する時期。五輪の切符を懸けた真剣勝負を、ぜひ会場で見ていただきたい」との談話を出しました。

★GK大迫が海外移籍へ　J1広島は30日、日本代表GK大迫敬介（27）が海外クラブへの移籍を前提とした手続きと準備のため、チームを離脱したと発表しました。先のワールドカップ（W杯）北中米3カ国大会では代表入りしましたが、本大会出場はありませんでした。

★女子W杯放映権に327億円　米動画配信大手ネットフリックスが、来年ブラジルで開催されるサッカー女子ワールドカップ（W杯）の米国とカナダ向け放映権の取得に2億ドル（約327億円）を支払うと29日、米ブルームバーグ通信が報じました。女子スポーツの放映権契約としては最大級といいます。（時事）

★豊昇龍ら夏巡業休場　日本相撲協会は30日、右太もも裏などの負傷で先の大相撲名古屋場所を14日目から休んだ横綱豊昇龍が、8月2日からの夏巡業を休場すると発表しました。左太ももの大けがで全休した関脇若隆景、休場明けで11勝を挙げた元大関の高安らも休みます。（時事）

SNSの中傷 五輪以上

サッカーW杯 JOCなど報告

日本オリンピック委員会（JOC）と日本パラリンピック委員会（JPC）は30日、選手に対する誹謗（ひぼう）中傷対策事業の報告書を公表しました。大規模国際大会の期間中、SNSの投稿を監視。サッカーのワールドカップ（W杯）北中米3カ国大会では、今年のミラノ・コルティナ冬季五輪・パラリンピックを上回る投稿数と中傷コメントが確認されました。

中傷とみなされた投稿は全体の1％程度にとどまり、担当者は「本当に応援の声が多かったが、ネガティブな意見が選手（の心）に深く突き刺さるのは事実。対策したい」と述べました。

投稿内容の分析結果は、今秋の愛知・名古屋アジア大会にも生かされます。JOC理事で大会組織委のアスリート委員長を務める谷本歩実さんは、「国内の大会は内容が異なる。（昨年の）世界陸上東京大会を参考にしながら、選手が安心して試合に挑む体制を整えたい」と話しました。

日本4強ならず

ラクロス女子世界選手権

ラクロス女子の世界選手権は29日、東京・大井ホッケー競技場で準々決勝が行われ、世界ランキング5位の日本は2位のカナダに4−5で競り負けました。日本は5〜8位決定予備戦に回りました。

日本は前半を終え2−0とリード。逆転を許した後、第4クオーターに中沢こころの得点で同点としましたが、延長戦で決勝点を奪われました。

カナダ戦で攻め込む中沢ねがい（左）

強豪相手に健闘 持ち味出し切る

▽…敗れたとはいえ、日本はランク上位のカナダ相手に持ち味を出し切った。ボールを保持する時間を増やす作戦。攻撃の中心の中沢姉妹にパスがつながり、妹ねがいが3得点を挙げ、姉こころは第4クオーターに起死回生の同点ゴールを決めて強豪を追い詰めた。延長戦で屈したが、宮沢ヘッドコーチは「ゲームプランをしっかりつくって準備した。選手は頑張ってたたかい抜いた」とたたえた。

日本の過去最高成績は5位で、今大会も4強入りへの壁が破れなかったのは事実として残る。ここころは「世界はまだ遠い。どう埋めていくのかが大事」と硬い表情だった。

熊本へエール 豪快スイング

自身の活躍を故郷熊本へのエールにしたい。そう話していたホワイトソックスの村上が、言葉通りの豪快なスイングを見せた。1点差に迫った八回、初球の難しい低めのカーブをすくい上げて左中間フェンス際へ。「自分のスイングを心掛けて、反応して、いつものように。いい感じに打ったので、いったかなと思った」と振り返った。

1点を追う延長十一回には、三塁に進んだ後、捕手の悪送球の間に同点のホームを踏んで球場を沸かせた。チームは十二回にサヨナラ勝ち。「きょうは負けると勝つとでは全然違う試合。こうやって勝ち切れたことはすごくよかった」と、うれしそうに話した。

熊本の震災報道を見たベナブル監督やチームメートから、温かい言葉を掛けられたという。村上は「心配してくれている。すごくありがたい」と感謝した。（シカゴ時事）

新日本スポーツ連盟副理事長　青沼裕之　スポーツサイト

■ 基本計画中間報告案 ■

スポーツ振興 眼中になし

6月末、スポーツ審議会スポーツ基本計画部会に『第4期スポーツ基本計画の策定について　中間報告案−スポーツの「楽しさ」で人や地域の可能性を引き出し、未来を切り拓（ひらく）−』が提出されました。同案が示した「第4期スポーツ基本計画のねらい」は改正スポーツ基本法第2条の8項目の理念を踏まえ、「スポーツの価値を生かした社会課題解決への貢献を目指して策定を行う」としています。

同案は「スポーツを取り巻く社会環境の変化と新たな課題に対応するとともに、ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良い状態）の向上に向け、スポーツ権の実質化を図る観点から」大幅改正されたとあります。

考え方として、「スポーツを通じた社会課題の解決」「社会の成長・発展に貢献する視点」「ハイパフォーマンスの追求と、その成果・知見を社会に還元していく視点」「目標実現に必要な投資や人の流れを生み出す視点」などが掲げられています。スポーツを社会課題解決の手段とすることが基調となり、スポーツの「楽しさ」を実現するという目的が見えてきません。

社会の成長・発展に貢献する視点にはわざわざ「運動・スポーツを活用して経済成長を支える心身の健康の保持・増進の基盤」として整理し、「成長分野を支える人材の定着、継続的な能力発揮、生産性の維持・向上及び現役期間の拡大を図る」と注釈が付けられているのも問題です。

「重点施策1」に添付された各運動・スポーツ種目の「複数実施率」調査では、予想通り「ウオーキング（散歩・ぶらぶら歩き）」が2万3962人で圧倒的に1位であり、2位は「階段昇降」の8220人となっています。また「この1年間に運動・スポーツをしなかった」人は9824人で、調査結果は貧困なスポーツ実態が如実に表れています。それなのに「スポーツ実施を促す環境整備のための施策の推進」としては、「スポーツ実施促進を支えるスポーツ関連産業の拡大」が挙げられているのみです。

総じて同案では、スポーツが経済成長とその投資に利することが強調される一方、市民のスポーツ振興策はほとんど眼中にありません。スポーツ実施率向上には、スポーツくじに頼らない国と自治体のスポーツ予算の確保策や施設の新設・改築計画、指導者養成施策が欠かせません。同案にそれらが欠落していることは看過できない問題です。

矢野・前川両選手に家宅捜索

プロ野球・広島　選手登録抹消

プロ野球広島は30日、所属する矢野雅哉（やの・まさや）内野手と前川誠太（まえかわ・せいた）内野手が、広島県警から自宅などの捜索を受けたと発表しました。球団は同日に前川内野手の出場選手登録を抹消。矢野内野手は17日に抹消されていました。

広島では、羽月隆太郎元選手が「ゾンビたばこ」と呼ばれる指定薬物「エトミデート」を使用したとして、今年1月に医薬品医療機器法違反容疑で逮捕され、その後有罪判決を受けました。

29日のプロ野球

（一部地域既報）

◇全パ−全セ第2戦（1勝1敗、通算全パ94勝82敗11分、富山アルペン）

全セ	0	0	3	1	2	5	0	0	0	8
全パ	0	0	4	2	1	0	0	0	0	7

▽勝　清水1試合1勝
▽S　岡本1試合1S
▽敗　椋木1試合1敗
▽本塁打　佐藤2号①（高橋光）細川2号①（高橋光）3号②（椋木）柳田1号③（遠藤）レイエス1号①（清水）

きょうのスポーツ

◆総合＝全国高校総合体育大会（17時、滋賀・平和堂HATOスタジアムほか）◆ラクロス＝女子世界選手権（16時、東京・秩父宮ラグビー場）◆スキー＝札幌市長杯宮の森サマージャンプ大会（10時、札幌市宮の森ジャンプ競技場）

◆プロ野球＝巨人×DeNA（18時、東京ド）ヤクルト×阪神（18時、神宮）広島×中日（18時、マツダ）日本ハム×ロッテ（18時、エスコ）楽天×ソフトバンク（18時、楽天）西武×オリックス（18時、ベルー）

【予告先発】▽巨人・ハワード−DeNA・平良▽ヤクルト・奥川−阪神・才木▽広島・床田−中日・高橋宏▽日本ハム・達−ロッテ・河村▽楽天・早川−ソフトバンク・上茶谷▽西武・隅田−オリックス・寺西

ホイッスル

国際サッカー連盟（FIFA）は28日、ワールドカップ（W杯）などの運営を担わせる子会社設立計画を発表しました。これに対し、批判が相次いでいます。

子会社は株式評価額を2000億ドル（約3兆2750億円）に設定。民間投資家に一部株式を売却する構想です。外電によると欧州連盟は激しく反発し、「越えてはならない一線を越えた。サッカーの魂や統括のあり方は、取引の対象となるような『資産』ではない」と表明。他の大陸連盟や協会からも抗議の声が上がっています。

W杯ではチケット高騰などFIFAのもうけ本位の運営が非難の的でした。行き過ぎた商業主義をどう止めるか。サッカー界全体が問われています。

将棋第57期 新人王戦

（3回戦　第3局　第3譜）

先▲四段　片山史龍（東京出身　21歳）
△四段　吉池隆真（東京出身　21歳）

▲3七銀5　△3五歩10
▲2六銀6　△3四金21
▲3五銀6　△4五金
▲2四歩

（指し手47手）

持ち時間各3時間
消費▲1時間39分　△1時間22分

（指始図は▲3五歩まで）

9	8	7	6	5	4	3	2	1
香	飛						桂	香
		金	銀	王	銀	角		
		桂	歩		歩	金	歩	
歩		歩		歩		歩		歩
	歩				歩			
歩		歩	歩		角			
	歩	銀	金		歩		歩	
	王	金			銀			
香	桂						飛	香

△片山　なし　△吉池　歩

初手合

二人は、本局が公式戦の初対局。つまり、プロになって初めてということ。同い年でもあり、過去には数えきれないほどの対局があったようですから、ライバル意識もあるでしょう。表面には闘志のかけらも感じられませんがネ。

その二人の将棋は暗黙の了解のように、片山の矢倉と吉池の雁木模様で進んできました。指始図は▲5五歩△同歩に▲3五歩と、片山が仕掛けたところ。まだお昼前ですが、どうやら中盤戦に入ったようです。

（参考図は△3四金まで）

9	8	7	6	5	4	3	2	1
香	飛						桂	香
		金	銀	王	銀	角		
		桂	歩		歩	金	歩	
歩		歩		歩		歩		歩
	歩				歩			
歩		歩	歩					
	歩	銀	金		歩		歩	
	玉	金	角		銀			
香	桂						飛	香

▲歩　△歩二

（指始図は▲3五歩まで）

9	8	7	6	5	4	3	2	1
香	飛						桂	香
		金	銀	王	銀	角		
		桂	歩		歩	金	歩	
歩		歩		歩		歩		歩
	歩				歩			
歩		歩	歩		角			
	歩	銀	金		歩		歩	
	玉	金			銀			
香	桂						飛	香

△片山　歩

指始図の▲3五歩を△同歩と取ると、▲同角△3三金▲6八角△3四金で参考図。本譜のように進行した場合、「参考図以降、後手の手が難しいと思っていました」と吉池。

この金が出て行くのは吉池の以前からの考えで、8一の飛車を△3一飛と回って活用しようという、そのための金出なのですね。

本譜は相手の手に乗って金を出たわけですが、「呼び込んでしまったかもしれない」と少し反省します。

話は戻りますが、片山の▲3五歩は30分以上の長考で指されましたので、吉池の△3三金は想定内と思います。右銀も繰り出し、好調の印象。（蝶谷初男）

■女流名人戦の再開を発表−日本棋院

囲碁第38期女流名人戦の開催を日本棋院が27日に発表しました。

今年4月に第37期挑戦手合三番勝負をおこなった後、棋戦休止となっていましたが新たなスポンサーの支援のもとで実施されます。

棋界メモ

出場資格は日本棋院・関西棋院所属の女性棋士で、これまでのリーグ戦による挑戦者争いを本戦トーナメントに変更し、上野愛咲美第37期女流名人との挑戦手合三番勝負をおこないます。

挑戦手合は来年4〜5月に予定しています。

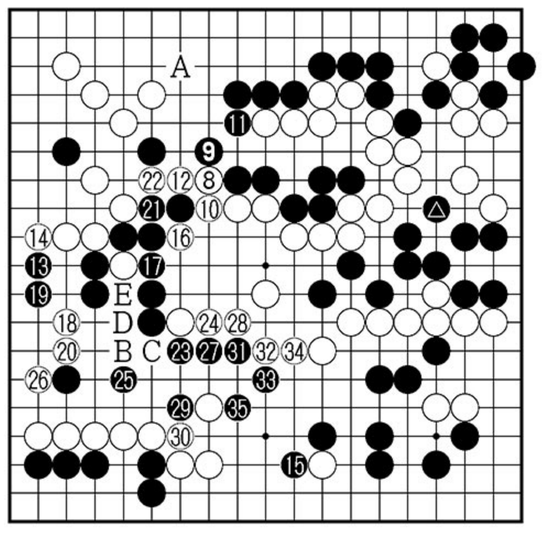
［2026・7・31・金］

囲碁第51期 新人王戦

（2回戦　第4局　第7譜108〜135）

黒　四段　加藤千笑（岐阜出身　24歳）
白　三段　田中佑樹（東京出身　20歳）

（各3時間持ち、△は前回最終手）



形勢逆転！

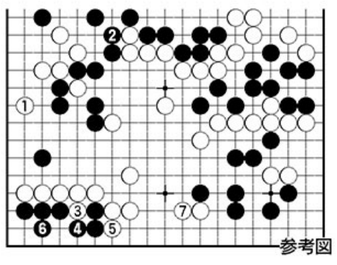
現在、白優勢とはいえその差はわずか。ここからは互いに神経をすり減らすヨセ勝負だ。

盤面中央左に白8から10、12と打って左辺黒を上辺と分断しつつ自身の連絡も果たしたこの判断が勝負の分かれ目となった。局後、田中はこの中央左に打った手を「白15でした」と後悔している様子だった。また、解説の寺田柊汰三段も「白12では参考図白1以下7までと、実のあるところを優先して打つほうが勝ったでしょう」と述べていた。

田中の後悔を横目に、黒13と14を換わってから黒15と、着実に地を稼いでいく加藤。わずかではあるもののここで形勢が黒良しに傾くことになった。

加藤が形勢逆転に成功したものの、依然として微細な形勢である。まだまだ予断を許さない状況で、黒35は非常に冷静な判断だ。この手では上辺黒Aが「喉から手が出るほど回りたい大どころですが、白B、黒C、白D、黒E、白35と攻められると、左辺は取られこそしないものの損失を払うことは避けられず、とても得にはならないでしょう」と寺田三段。（石井耕司）

（消費▽黒2時間47分▽白2時間5分）



参考図